

INSPIRE 1

免責条項および注意事項

V1.2 2015.10



🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「インストール」などのキーワードを検索して、トピックを見つけます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を参照している場合は、Ctrl+F (Windows) または Command+F (Mac) を押して検索を開始します。

👉 トピックへの移動

目次でトピックの完全な一覧を表示します。トピックをクリックして目的のセクションに移動します。

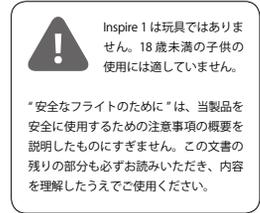
コンテンツ

安全なフライトのために	2
通知	4
用語集	4
フライト前のチェックリスト	5
免責条項および警告	6
FCC Compliance and Advisory	7
はじめる前に	8
個別パーツ	8
純正および機能するパーツについて	8
送信機	8
カメラ	9
ジンバル	9
コンパス	9
プロペラシステム	10
DJI GO App	11
ファームウェア	12
製品のケア	13
保存および移動	13
メンテナンス	13
フライトコンディション	14
天候および環境	14
フライトコントローラーおよび通信の干渉	14
責任を持って機体を操縦する	15
フライトモード、機能、および警告	16
フライトモード	16
フェイルセーフおよびリターントゥーホーム	16
ローバッテリー	17
トランスフォーメーション機能	17
ビジョンポジショニング	18
規制や飛行禁止区域に対するコンプライアンス	19
規制	19
飛行禁止区域	19
サポートポリシー	21

安全なフライトのために

1. 環境上の配慮

- ・ビルやその他の障害物のない場所で飛ばしてください。
- ・群衆の上空、又は近くで飛ばさないでください。
- ・400 フィート (120m) を超える高度で飛ばさないでください。
- ・海拔 14,700 フィート (4,500 m) 以上で飛ばすときは注意してください。
- ・気温 32° ~ 104° F (0° ~ 40° C) の穏やかな気候の時に飛ばしてください。



2. フライト前チェックリスト

- ・リモートコントローラーと機体のバッテリーがフルに充電されていることを確認してください。
- ・プロペラが破損・変形等のない完全な状態で、しっかりと固定されていることを確認してください。
- ・モーターの動作を阻害するものがないか確認してください。
- ・新しい場所でフライトを行うたびに、コンパスキャリブレーションを必ず行ってください。
- ・カメラレンズに汚れがないか確認してください。

3. 操作

- ・回転中のプロペラやモーターには近づかないでください。
- ・常に機体が見える範囲で飛ばしてください。
- ・機体が空中にある時は、コンビネーションスティックコマンド (CSO) を実行しないでください。
- ・フライト中は電話を取らないでください。
- ・アルコールや薬の影響下にある時は、飛行しないでください。
- ・リターントゥホーム実行中、ユーザーは、障害物を避けるために高度を調節することができます。
- ・水や雪など反射面の近くで飛行しないでください。ビジョンポジショニングシステムの動作に影響を与える可能性があります。
- ・ローバッテリー警告が発生した場合、機体を安全な場所に着陸させてください。
- ・モーターが回転している間は、リモートコントローラーから手を離さないでください。着陸後、リモートコントローラーの電源を切る前に、機体の電源を切ってください。

4. メンテナンス

- ・古い、欠けた、又は破損したプロペラは使用しないでください。
- ・推奨保管温度 71° ~ 82° F (22° ~ 28° C)
- ・バッテリーの安全な使用方法については、インテリジェントフライトバッテリー安全ガイドラインを参照してください。

5. 現地の法規制の遵守

- ・飛行禁止区域で飛ばさないでください。飛行禁止空域は、こちらのリンクから確認できます：<http://flysafe.dji.com/>
- ・DJI の定める飛行禁止区域は、現地の行政機関による規制および判断に代わるものではありません。
- ・救護部隊が使用している空域を飛行するのは避けてください。



広い開けた場所

+



コンパスキャリブレーション

+



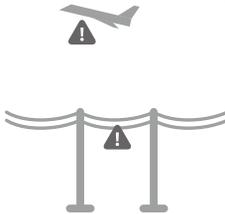
機体の見える飛行範囲

+



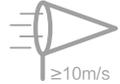
高度 400 フィート (120 m) 未満

=

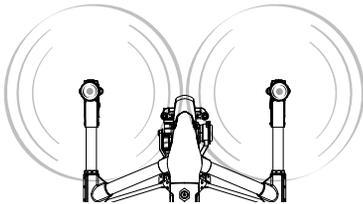


障害物、群衆、高圧線、木、水の近くを飛行するのは避けてください。

送電線や携帯基地局など、強力な電磁気の発生源の近くを飛行しないでください。機体のコンパスの動作に影響を与える可能性があります。



雨、雪、霧、0 m/s 又は 22 mph を超える風速、などの悪天候下では、使用しないでください。



回転中のプロペラやモーターには近づかないでください。



飛行禁止区域

詳しくはこちら：
<http://fllysafe.dji.com/no-fly>

通知

すべての説明および付随する資料は SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD の判断により変更される対象となります。最新の商品説明は <http://www.dji.com> から Inspire 1 の商品ページをクリックして入手してください。

用語集

次の用語はこの商品に関する印刷物に一貫して使われ、この製品を使用するときに発生する可能性のある異なるレベルの危険性を示しています。

- 通知** 通知：正しく従わないと所有物に物理的な損害を引き起こす可能性があり、怪我を引き起こす可能性がほとんどまたはまったくない手順。
- 注意** 注意：正しく従わないと所有物に物理的な損害を引き起こす可能性があり、重大なケガを引き起こす可能性がある手順。
- 警告** 警告：正しく従わないと所有物への損害、付随する損害、および重大なケガを引き起こす可能性があり、また外傷を引き起こす可能性が高い手順。



警告

操縦する前にユーザーマニュアルのすべてに目を通し、製品の特長を把握してください。この製品の操縦を正しく行わないとこの製品または所有物に損害をあたえ、また重大な怪我を引き起こすことがあります。この製品は注意力、常識、および基本的な機械の理解が必要となります。この製品を安全に、そして責任のある方法で操縦できない場合、製品やそのほかの所有物への怪我や損害の原因となります。大人の監視下には子供はこの製品を操縦しないでください。この製品に互換性のない部品を使用しないでください。また、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD が提供する資料に書かれている以外の内容を製品に適用しないでください。これら注意事項は安全性、操縦、およびメンテナンスに関する内容を含んでいます。この製品を正しく使用し、深刻な怪我を避けるために、組立、セットアップ、または使用する前に、ユーザーマニュアルにあるすべての説明および警告を必ず読んでください。

年齢制限：18歳未満。この製品はおもちゃではありません。

フライト前のチェックリスト

- 1) 純正パーツのみを使用し、すべてのパーツが新品同様であることを確認してください。
- 2) リモートコントローラー、インテリジェントフライトバッテリー、およびモバイル単減がすべてフル充電であることを確認してください。
- 3) カメラレンズに異物が混入していないこと、Micro-SD カードがカメラに挿入されていること、電源をオンにする前にジンバルが自由に回転することを確認してください。
- 4) モーターにプロペラがしっかりと取り付けられ、かつモーターが始動し正常に機能することを確認してください。
- 5) コンパスをキャリブレーションするためにスクリーンのイントロダクションに従ってください。
- 6) DJI GO App および機体のファームウェアが最新のバージョンにアップグレードされていることを確認して下さい。
- 7) 飛行禁止区域の外でフライトを行い、フライト条件が適切であることを確認してください。
- 8) アルコール、麻薬、またはあなたの認識能力に悪影響を与える物質の影響がないことを確認して下さい。
- 9) 選択したフライトモードに詳しくなり、すべての安全機能および警告を理解してください。
- 10) フライトを行う地域のすべての法令を理解し、必要な許可を得てフライトを行ってください。またリスクを十分理解してください。注意: すべての飛行規制に従う事はすべてあなた個人の責任です。
- 11) 機体を安定させるためビジョンポジショニングシステムを使用する場合は、適切な地面の場所を選択してください。詳細は、本書の“ビジョンポジショニングシステム”をお読みください。

免責条項および警告

この製品はおもちゃではありません。また 18 歳未満の方のご使用はお勧めできません。Inspire 1 をお子様の手の届かないところに保管し、お子様が近くにいる場合は十分注意して操縦してください。

この商品は簡単にフライトする空飛ぶカメラです。次に説明する作業順にしたがってください。最新のインストラクションおよび警告を <http://www.dji.com> から入手し、安全なフライトおよびコンプライアンスに関するさらなる情報は <http://knowbeforeyoufly.org/> から入手してください。

この書類にかかれている情報はあなたの安全性およびあなたの法的権利と責任に大きな影響を及ぼします。使用前に正しい設定を行う為に、この書類に書かれている全ての内容を注意深く読んでください。この書類を読まなかったり、インストラクションに従わなかったりすると製品の紛失、深刻なケガ、または機体へのダメージを引き起こす結果となります。

この製品を使用することによって、あなたはこの免責条項を注意深く読み、理解し、この中にある用語や条件を守ることに同意したとみなされます。あなたはこの製品を使用している最中に、および使用によるいかなる結果に対し、あなた単独で責任を負うことに同意します。あなたはこの製品を正しい目的で使うことに同意します。また全ての該当する法律、規則、海外または国内の航空規制を含む規制、および DJI が定める、また今後定めていく用語、予防措置、およびガイドラインに従う事に同意します。

DJI は損害、ケガ、およびこの製品の使用による直接的または間接的ないかなる法的責任も一切その義務を負いません。ユーザーが安全を確認し、次にあげる注意事項またはそれ以外の事項に沿って製品を使用して下さい。

データの保管と使用

携帯アプリ、製品、またはその他のソフトウェアを使用する場合、フライト遠隔操作データ（例えば、速度、高度、バッテリー寿命、およびジンバルやカメラの情報）および操縦記録などの製品に関するデータは自動的にまたはマニュアル操作で DJI のサーバーにアップロードされます。内部記憶デバイスは製品の記憶装置に保管されているフライト遠隔操作データを含む様々なタイプのデータの一つにまとめます。内部記憶デバイスから DJI に情報をマニュアルで転送するとき、あなたはフライト遠隔操作データおよびその他のデータを DJI に提供する事があります。

自動的にまたはマニュアル操作で DJI にアップロードされたデータに個人情報（例えば、あなたの名前、住所、email アドレス、またはあなた個人を特定するその他の情報）は含まれません。しかしユーザー名はここでアップロードされるデータに含まれ、DJI がデータを保管する際に、情報の特定またはタグ付けのために使用されます。あなたのユーザー名およびその他の個人情報の使い方に関するポリシーは <http://www.dji.com/policy> からご確認ください。製品、モバイルアプリまたはその他のソフトウェアをご使用になることによって、またマニュアル操作でデータを DJI に提供することによって、あなたは次の内容に同意したこととなります。

- ユーザー名と組み合わせられたあらゆるフライト遠隔操作データおよび DJI にアップロードまたは提供されたデータの保管
- DJI 製品の改良およびお客様へのサービスおよびサポートの提供を目的とするこれらアップロードまたは提供されたデータの使用

- DJI 代理人および（または）契約人は DJI にかわって、または DJI との関係においてアップロードまたは提供されたデータの公開
- 法律により要求された場合、公共の安全や政策に関すること、DJI の資産を移動する場合、または DJI の権利や所有権を保護するためにデータをシェアする必要があると信じる場合のアップロードまたは提供されたデータの公開

FCC Compliance and Advisory

This device complies with part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

IMPORTANT NOTE: FCC Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operate in conjunction with any other antenna or transmitter.

FCC Class B Information

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular location. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna;
- Increase the separation between the equipment and receiver;
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected;
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help;

DJI hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1995/5/EC.

はじめる前に

次の資料は安全な運用および Inspire 1 を最大限に活用していただくために作成されました：

セット内容

免責条項および注意事項

インテリジェントフライトバッテリー安全ガイド

クイックスタートガイド

ユーザーマニュアル

セット内容にリストアップされている部品が全てそろっていることを確認し、免責条項および注意事項を読んでください。ユーザーマニュアルとビデオチュートリアルを使って、機体を組み立てて下さい。より詳しい情報は DJI ウェブサイト (<http://www.dji.com>) に掲載されているユーザーマニュアルを参照してください。飛行する前に、個々のパーツの機能、要求されるフライト条件、重要な緊急事態警告機能/システム、およびすべての法令を十分に理解してください。製品の組立、メンテナンスまたは製品の使用に関する質問は DJI または DJI 正規代理店にお問い合わせください。

個別パーツ

純正および機能するパーツについて

警告

部品の故障、ケガ、および破損を避けるために次のルールを確認してください：

- 1) DJI 純正パーツまたは DJI 認定パーツをご使用ください。DJI が許可していないパーツまたは DJI が認定していない製造者によるパーツをご使用になると、システムの機能不全や安全性を損ねる可能性があります。
- 2) 機体または部品に外部物質（水、油、土、砂など）が混入していないことを確認してください。
- 3) 機体や送信機、GPS モジュール、コンパス、プロペラシステム、およびバッテリーなどの部品が正常に機能し、傷や汚れがないことを確認してください。部品の正しい使い方についてこの資料に詳しい記載がありますので参照してください。

送信機

通知

- 1) フライトの前に送信機が十分に充電されていることを確認してください。
- 2) 送信機の電源がオンになり、10 分間使用されなかった場合、送信機は警告音を発します。スティックを動かす、または何かほかのアクションを実行して警告音を解除してください。
- 3) モバイル端末をしっかりと固定する為にモバイル端末ホルダーのクランプを調節して下さい。
- 4) モバイル端末ホルダーがしっかりと取り付けられ、ずれていないことを確認してください。
- 5) 送信機のアンテナがたたまれておらず、最高の転送クオリティを発揮するように調整されていることを確認して下さい。
- 6) 破損した場合、送信機を修理または交換してください。破損した送信機はその性能を大きく損ないます。破損した場合、送信機を修理または交換してください。破損した送信機はその性能を大きく損ないます。

- 送信機または受信機を交換する場合、または新しい送信機を追加する場合、リンクが必要となります。詳細はユーザーマニュアルをご確認ください。
- スレーブ送信機は機体とリンクできないようになっているため、機体の飛行も制御できません。スレーブ送信機は、DJI GO アプリでマスター送信機に切り替えて、機体にリンクさせることで、飛行を制御できるようになります。
- 送信機の GPS が適切に機能し、ダイナミックホームポイントが正確になるようにするため、DJI のロゴが上空を向いていることを確認し、送信機を金属製の物体から離してください

カメラ

注意

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください：

- ケガやデバイスの故障につながるため、カメラの通風穴をふさがないでください。

通知

- カメラをお好みの設定に変更して下さい。
- 重要は写真や動画を撮影する前に、必ずテストを行ってください。
- 電源を入れた後で micro-SD カードを取り外さないでください。
- バッテリーが切れている状態で写真や動画の転送を行う事はできません。
- 正しくバッテリー電源をオフにしてください。さもないとカメラパラメーターが正しく保存されず、記録された動画が破損する可能性があります。注意：DJI は機械的に読み込みができない写真や動画に対して一切責任をおいしません。

ジンバル

通知

- ジンバル内部の精密機器が衝突や衝撃により損傷し、ジンバル機能の異常を引き起こすことがあります。
- ジンバルの電源をオンにした後、ジンバルに外部からの力をかけないでください。
- ジンバルの機能不全またはジンバル内部のモーターにダメージをあたえるため、ジンバルにペイロードを加えないでください。
- ジンバルの電源を入れる前に、ジンバルクランプを外してください。長期間機体を保管する場合は、ジンバルクランプを装着して、ジンバルを固定してください。
- ジンバルとジンバルコネクターは非常に繊細です。取り扱いの際には十分に注意し、ジンバルコネクターには触れないでください。破損すると、正常に動作しなくなります。
- ジンバルを取り付けたり取り外したりする場合、落とさないようにしっかりと持ってください。

コンパス

注意

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

- 機体が直線的に飛行せず、ドリフトする場合、すぐに機体を着陸させて下さい。

⚠ 警告

- 1) フライトの前にコンパスのキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションに失敗するとフライトパフォーマンスの低下や墜落の原因となります。
- 2) 強い磁気の影響がある場所でキャリブレーションを行わないでください。大量の金属がある場所、立体駐車場、鉄筋性の地下設備、または橋の下などです。
- 3) 鍵や携帯電話など強磁性の物質をキャリブレーションの最中に近づけないでください。
- 4) 屋内から屋外へ移動する際は必ずキャリブレーションを行ってください。
- 5) LED が赤く点灯しているとき、コンパスキャリブレーションに失敗しています。もう一度キャリブレーションを行ってください。
- 6) キャリブレーションを正しく行った後、機体を地面に置いた際にコンパスに異常が生じる場合があります。これは地下の磁気干渉によるものです。機体を他の場所に移動してもう一度試してください。
- 7) 次の場合に、再度キャリブレーションを行う必要があります：
 - a) コンパスデータに異常があり、機体ステータスインジケータは赤と黄色に点滅している場合。
 - b) 新しい場所でフライトする場合、または前回のフライトと異なる場所でフライトする場合。
 - c) 機体の機械的構造が変更された場合。例えばコンパスの設置場所が変わった場合。
 - d) 機体がドリフトする場合。例えば、機体がまっすぐに飛行しないなど。

プロペラシステム

⚠ 警告

回転しているプロペラおよびモーターによるケガを避けるために、次のルールを守ってください。

プロペラ

- 1) 古い、欠けている、または壊れているプロペラを使用しないでください。
- 2) プロペラに触れる場合、常に機体の電源をオフにしてください。
- 3) プロペラを取り付けおよび取り外しする場合、プロペラの鋭い先端に気を付けて下さい。プロペラを触るときはグローブなどを使用してください。
- 4) 必要な場合、レンチ、ドライバー、ペンチなどの道具を使ってプロペラを取り付けまたは取り外してください。
- 5) モーターから外れないようにプロペラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 6) 直ぐ近くに人や動物がいるとき、モーターをオンにしないでください。
- 7) 回転するプロペラは危険です。人がそばにいる時モーターを起動しないで下さい。広いオープンエリアで飛びます。

モーター

- 1) モーターがしっかりと取り付けられ、スムーズに回転していることを確認してください。
- 2) モーターの構造を変更しないでください。
- 3) とても熱くなっているので、フライト後にモーターに触ったり、体を近づけたりしないでください。

注意

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください：

- 1) モーターの通気穴をふさがないでください。
- 2) 機体フレームアームの通気穴をふさがないでください。

通知

モーター

- 1) モーターにホコリやチリが入らないようにしてください。
- 2) モーターが止まったり回転しなくなったりした場合、CSC（コンピネーションスティックコマンド）を実行してモーターをただちに停止してください。

エレクトリックスピードコントローラー（ESC）

- 1) ESC が異常な音を出していないか確認してください。

DJI GO App

通知

- 1) DJI GO App を立ち上げる前に、お使いのタブレットやモバイル端末がフル充電状態になっていることを確認して下さい。タブレットをご使用になることをお勧めします。
- 2) スマートフォンをご使用の際は、電話を受けてもフライトを継続するようにしてください。
- 3) すべての安全ヒント、警告メッセージ、および免責条項を読んでください。ご使用になる場所の規制について理解してください。すべての関連する規制やそれにしたがうことはユーザー個人の責任です。
 - a) 自動離陸および着陸機能を使用するまえに警告メッセージを読んでください。
 - b) ホームポイントをリセットする前に、警告メッセージを読み、内容を理解してください。
 - c) 高度を初期設定の値を超えて設定する場合、警告メッセージおよび免責条項を読んでください。
 - d) フライトモードを切り替えるとき、警告メッセージおよび免責事項を読んでください。
- 4) アプリにアラートが出た場合、すぐに機体を着陸させてください。
- 5) フライトの前にアプリに表示されているチェックリストの警告メッセージを検査およびチェックしてください。
- 6) 機体を一度も操縦したことがない、また機体の操縦に自信がない場合は、アプリの中にあるシミュレーターを使って練習してください。
- 7) DJI GO App は初期設定でビギナーモードになっています。ビギナーモードでは機体の高度と飛行距離が制限されています。DJI はあなたのフライト技術が向上するまでビギナーモードで練習することをおすすめします。十分なフライト技術を獲得してから実際の機体でフライトすることをお勧めします。
- 8) フライトのまえにインターネットに接続しあなたがフライトを行う予定の場所の地図をキャッシュしてください。

ファームウェア

警告

子供や動物にケガを負わせないために、次のルールを守ってください。

- 1) ファームウェアのアップグレード、システムのキャリブレーション、およびパラメーター設定の際は子供や動物を近づけないでください。

通知

- 1) 安全上の理由から、DJI GO App にアップグレードの通知がでたら、常に最新のファームウェアにアップグレードしてください。
- 2) ファームウェアアップグレードに関する通知がでたらすぐにすぐにアップデートを行うか3日以内にアップデートを行ってください。最新のファームウェアへのアップデートを無視する場合、表示される免責条項に同意しなければなりません。フライト遠隔操作データおよびユーザー選択記録は DJI が指定するサーバーに保管されることがあることを理解のうえ同意します。
- 3) DJI 公認ファームウェアのみを使用してください。アップグレードするまえにファームウェアパッケージが DJI デベロッパーウェブサイト (<http://www.dji.com>) からダウンロードされていることを確認してください。
- 4) 機体をアップデートしたあと、リモートコントローラーファームウェアを最新の状態に保ってください。
- 5) アップデートのあと、送信機が機体とリンクしないことがあります。送信機と機体を再度リンクしてください。
- 6) ファームウェアのアップデートを実行する前に全ての接続を確認し、全てのプロペラを取り外してください。
- 7) お使いの SD カードにファームウェアパッケージバックが1つだけ保存されている事を確認してください。
- 8) FAT32 および exFAT ファイルシステムにフォーマットされている記憶デバイスのみ機体と送信機のアップデートでサポートされます。

製品のケア

保存および移動

警告

子供や動物にケガを負わせないために、次のルールを守ってください。

- 1) ケーブルやストラップなどの小さなパーツは飲み込むと危険です。全てのパーツはお子様や動物の手の届かない場所に保管してください。

通知

- 1) バッテリーおよびリモートコントローラーを直射日光を避け、涼しく、乾燥した場所で保管し、内蔵の LiPo バッテリーが過熱状態にならないようにしてください。推奨保管温度は3ヶ月以上の保管の場合 22～28℃です。-20～45℃以外の温度範囲で保管しないでください。
- 2) カメラを水やそのほかの液体に接触させたり、浸したりしないでください。カメラが濡れた場合、乾いた柔らかい、吸収性のある布でふいてください。水の中に落ちたカメラの電源を入れると永久的な故障の原因となることがあります。カメラを掃除またはメンテナンスするために、アルコール、ベンゼン、シンナーまたはその他の揮発性物質を含む物質を使用しないでください。カメラを湿度の高い、埃っぽい場所で保管しないでください。
- 3) 機体を長期間保管する場合や、長距離運搬する場合は、機体からジンバルを取り外してください。加えて、ジンバルクランプを装着してください。
- 4) バージョン 2.0 より古い USB インターフェイスにこの製品を接続しないでください。この製品を「パワー USB」またはそれに似たデバイスに接続しないでください。

メンテナンス

通知

- 1) 墜落や強い衝撃を受けた後は必ずきたいの全てのパーツをチェックしてください。質問や問題がある場合は DJI 正規販売店にお問い合わせください。
- 2) 現在のバッテリーレベルおよびバッテリー寿命を確認するために、バッテリーレベルインジケーターを定期的にチェックしてください。バッテリーライフが0%になった場合、使用する事が出来ません。
- 3) 飛行時間が50時間になるたびに、Inspire 1 とその部品およびコンポーネントのすべてを徹底的に検査して、機体の安全な操作を確認することを推奨します。

フライトコンディション

天候および環境

警告

機体は穏やかな天候で操縦するように設計されています。墜落、ケガ、および破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

- 1) 風速 10m/秒、雪、雨、霧、強風、雹、雷、竜巻、または台風などの、厳しい天候で機体を使用しないでください。
- 2) 機体を障害物、人、動物、建物、公共インフラ、樹木、および水から少なくとも 10 メートル (30 フィート) 離してください。高度を上げる場合は上記の物体から機体をさらに遠ざけて下さい。
- 3) 機体を室内でフライトしないでください。
- 4) 室内を飛行する場合は、ビジョンポジショニングシステムを有効にしてください。ビジョンポジショニングシステムは、照明の弱い場所、および、水面や明確なパターンや模様のない面の上を飛行する場合には正常に機能しない可能性がありますので注意してください。

通知

- 1) 機体およびバッテリーの性能は気圧や気温によって左右されます。
 - a) 海拔 14,700 フィート (4,500 メートル) 以上を飛行する場合、バッテリーや機体のパフォーマンスが低下することがありますので、注意してください。
 - b) 気温が -68°F (-20°C) の範囲外の環境で機体を保管するのは避けてください。
- 2) 機体を事故、火災、爆破、洪水、津波、雪崩、地滑り、地震、埃、または砂嵐などに近づけないでください。

フライトコントローラーおよび通信の干渉

通知

- 1) 開けた場所でフライトしてください。高いビルや街路構造物がコンパスの正確性を損ない、GPS シグナルをブロックする事があります。
- 2) リモートコントローラーと他のワイアレスデバイスの干渉を避けてください。モバイルデバイスの WiFi をオフにしてください。
- 3) 磁気や電波干渉がある場所の近くをフライトしないでください。これらの場所は、高圧電線、大規模変圧設備または携帯基地局、および電波塔などです。これらの場所でフライトすると、この製品の伝送品質の低下または送信機の停止、およびビデオ伝送エラーを引き起こす事があります。機体は異常なふるまいを見せ、コントロール不能になることがあります。
- 4) 信号干渉を回避するために、2.4 GHz のチャンネルを使用する他のデバイスを使用しないで下さい。

責任を持って機体を操縦する

警告

ケガや破損を避けるために、次のルールを守ってください。

- 1) アルコール、薬物、麻酔などの影響かになく、めまい、疲労、吐き気、またはその他の状況、例えば肉体または精神にかかわらず、機体を安全に操縦することができない状態にある場合、フライトを行わないでください。
- 2) 機体が空中にあるとき、コンビネーションスティックコマンド入力しないでください。さもないと、空中でモーターが停止します。緊急事態が起こらない限り、損傷を最小限にするためにモータを停止させます。
- 3) 見渡す限り範囲で飛ばしてください。建物と他の障害物という視野を視野を遮断する恐れがあるものの後ろに飛ぶのを回避します。
- 4) 飛行機が空中に飛んでいるうちに、自動離陸 / 着陸、自動復帰という機能を使用しても、飛行機の制御を維持するために、あなたの手の中にリモコンを常に握ってください。
- 5) 着陸後、機体の電源を先にオフにし、次にリモートコントローラーの電源をオフにしてください。
- 6) 本製品で建物、人と動物に危険なオブジェクト発射するなり投げるなり禁止します。

通知

- 1) 事故を起こすまえに、十分に練習を積み、万が一の場合に備えてしっかりと計画をたててください。
- 2) フライトプランをもち、無計画なフライトを行わないようにしてください。
- 3) カメラを使用する際は、他人のプライバシーを尊重してください。現地のプライバシーに関する法律、規制、およびモラル基準にしたがってください。
- 4) この製品を個人的な目的以外に使用しないでください。この製品を違法または不適切な目的で使用しないでください。（例えば、スパイ活動、軍事作戦、または許可されていない調査など）。
- 5) この製品を中傷、虐待、嫌がらせ、ストーキング、脅迫、またはその他の法的権利（例えば、プライバシーや広告など）を侵害する目的で使用しないでください。
- 6) 他人の私有地に不法侵入しないでください。

フライトモード、機能、および警告

フライトモード

警告

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

GPS 無効の状態では機体を安全に着陸させることが出来ないので、各フライトモードに慣れるまでは、P モードから A モードまたは F モードに変更しないでください。

通知

P モードはもっとも一般的なフライトシナリオです。P モードが無効の場合、A モードに切り替えることができます。A モードではいくつかの機能が無効です。そのため、A モードでフライトするさいは注意が必要です。

1) P モード (ポジショニング) : GPS シグナルが強いとき、P モードが最も適しています。P モードには 2 つのステータスがあり、DJI Inspire 1 が GPS シグナルの強さに応じて自動的に選択します。

a) P-GPS : GPS が有効で、機体は GPS をポジショニングのために使用する。

b) P-OPTI : ビジョンポジショニングが有効で GPS シグナルが無効の時。機体安定の為にビジョンポジショニングのみ使用。Inspire 1 が水面の上、明確なパターンや模様のない面上、あるいは、照明の弱い場所を飛行する場合は、ビジョンポジショニングシステムは正常に動作しないことがあります。

c) P-ATTI : GPS が無効のとき、機体のバロメーターのみを使用するので、高度のみコントロールすることができます。

2) A モード (姿勢) : GPS はポジショニングのために使用されません。機体のバロメーターのみを使用するので、高度のみコントロールすることができます。もし GPS シグナルを受信できる状態にあるとき、送信機シグナルを失いホームポイントが正しく記録されている場合、自動的にホームに帰還します。

3) F モード (機能) : このモードではインテリジェントオリエンテーションコントロール (IOC) が有効です。ご使用になるまえに、IOC 機能について十分理解してください。

GPS アシストを解除するモードに切り替える場合、機能を有効にするために免責条項の画面に同意する必要があります。この機能が有効になった場合、フライト遠隔操作データおよび機能記録が DJI 指定のサーバーにアップロードされ保管されることを理解の上同意してください。

フェイルセーフおよびリターントゥーホーム

GPS 信号が良好である場合には、自動的に離陸した正確な場所を記憶してホームに帰還できます。離陸する前に、飛行機は DJI GO アプリに GPS 信号が二つ以上のセルに表示されるとき GPS 座標をホームに見なされます。自動的にその場所に戻すのは自動復帰と呼ばれています。

知能復帰 : DJI GO アプリのホームボタンまたはリモコンの S2 スイッチをタップすると、自動的に戻ります。

低電量自動復帰 : 返すことだけの電量が残すと知能電量分析システムが分かると、自動的に戻ります。

制御されていない自動復帰 : リモコン信号が失うと、自動的に戻ります。

通知

- 1) GPS シグナルが十分ではない、または GPS が有効ではない場合、リターントゥーホーム機能は有効にはなりません。
- 2) リモコンの電源を切るのではなく、リモコン上の S1 スイッチを操作してホームポイントに帰還する。
- 3) 高層ビルはフェイルセーフ機能に悪影響を及ぼします。機体を帰還させる際は、機体が障害物と衝突しないように、機体の場所や高度を調整してください。
- 4) 機体を送信機の伝送範囲内で使用してください。
- 5) 天候、環境、または近くの磁気によって影響を受ける可能性があるとして、緊急時にフェイルセーフおよびリターントゥーホーム機能を使ってください。
- 6) フェイルセーフ RTH な場合に機体は障害物を避けることができない。そのためには、フライトの前に適切なフェールセーフ高度を設定することが重要です。いずれかの近くの建物と離し、信号の干渉を避けるために、より高く飛行してください。リモコンの信号が失われた場合、フェールセーフ RTH 手順が自動的にトリガされますが、機体を制御することはできません。

ローバッテリー

通知

- 1) 致命的なローバッテリーレベル警告が有効になった場合、機体は自動的に降下します。スロットルを使って機体の高度を調節し、より適切な場所へ着陸するように誘導する事ができます。
- 2) バッテリー警告が発動されたとき、機体をすばやくホームポイントに戻してください。またはフライト中の電力消耗や機体、人や動物へのダメージを避けるために着陸させてください。
- 3) 室外寒い環境ではバッテリーをウォームアップしてください。この場合は DJI GO app がバッテリー警告を表示します。

トランスフォーメーション機能

警告

ケガや破損を防ぐために、次のルールを守ってください。

- 1) 機体がトランスフォーメーション中は、けがをする危険がありますので機体に近づかないでください。
- 2) 機体を捕まえようとしないでください。ビジュアルポジショニングシステムが物体を検出した場合にランディングスキッドが下がり、けがをする場合があります。

通知

- 1) 着陸前には、ランディングスキッドが下がっていることを確認してください。
- 2) 機体のアームは清潔にしておいてください。汚れていると、トランスフォーメーションに影響が及ぶ場合があります。
- 3) 機体のアームに潤滑油を塗らないでください。

ビジョンポジショニング

通知

1. ビジョンポジショニングシステムは、パターンの変化がない地面では正確に動作しません。ビジョンポジショニングシステムが適切に動作する有効な高度は、3.0メートル未満です。
2. 機体が水上を飛行している場合、ビジョンポジショニングシステムは適切に機能しないことがあります。
3. ビジョンポジショニングが起動している時はペットを遠ざけてください。音波センサーが発する音は一部ペットの可聴域に含まれています。
4. ビジョンポジショニングシステムが起動しているときは、ペットを近づけないでください。音波センサーは一部のペットにのみ聞こえる高周波音を発します。
5. 以下のいずれかの条件で飛行する際は、機体を慎重に操縦してください。
 - a) 単色の地面の上を飛ばす際（黒、白、赤、緑など）
 - b) 反射率の高い地面の上を飛ばす際
 - c) 高速（8m/s 以上）での飛行中
 - d) 水や透明な地面の上を飛ばす際
 - e) 動いている地面や物の上を飛ばす際
 - f) 光源が頻繁に変化したり、大幅に変化する場所を飛ばす際
 - g) 極端に暗い（10ルクス未満）、明るい（100,000ルクス以上）地面の上を飛ばす際
 - h) 音を吸収する素材の上を飛ばす際（毛足の長いカーペットの上など）
 - i) はっきりしたパターンや模様のない地面の上を飛ばす際
 - j) 同一の反復するパターンや模様の上を飛ばす際（すべて同じデザインのタイルの上など）
 - k) 超音波をまっすぐ反射できないような、傾いている地面の上を飛ばす際
6. リモートコントローラーのシグナルが消失した場合は、“P”モードに設定されている場合、機体は8秒間ホバリングしたのち、自動着陸します。

規制や飛行禁止区域に対するコンプライアンス

規制

警告

コンプライアンスに反する行為、ケガ、破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

- 1) 高度にかかわらず、有人飛行機の付近で操縦しないでください。（必要な場合はすぐに着陸させてください）。
- 2) 都市部、スポーツイベント、展示会、パフォーマンスなど、人口密集地でのフライトは避けて下さい。
- 3) 許可された以上の高度をフライトしないでください。有人飛行機の操縦を妨げない様に注意して下さい。つねに他の機体や障害物を避けるようにしてください。

注意

コンプライアンスに反する行為、ケガ、破損を防ぐため、次のルールを守ってください。

- 1) 現地の法律や規制で定められる飛行禁止区域の近くや区域内をフライトしないでください。飛行禁止区域は空港、国境、主要都市、など継続的に更新されます。
- 2) 許可された高度を超えてフライトしないでください。
- 3) 機体を visual line of sight (VLOS：見通し) に保ち、必要であれば観客役をつけてください。
- 4) 機体を違法物または危険物の運搬に使用しないでください。

通知

- 1) フライトの目的や種類（娯楽、公共、商用など）を理解し、フライト前に該当する政府機関から許可や認可を得てください。詳細は現地の取締機関に相談してください。アメリカ合衆国でフライトを行う場合、<http://www.knowbeforeyoufly.org/> を訪れ、あなたの現状にそったアクションをとってください。
- 2) 遠隔操作する機体を商業用に使用することが禁止されている国や地域があります。事前に現地のすべての法律および法令を確認し、それらにしたがうようにしてください。
- 3) 発電所、水処理施設、刑務所、交通量の多い道路、政府施設、軍事施設などの周辺を飛行しないでください。
- 4) カメラを使用する際は、他の人のプライバシーを尊重してください。たとえ個人的に使用するためであっても、許可なく個人、団体、イベント、パフォーマンス、展示会、および私有財産の監視のために使用しないでください。
- 5) たとえ個人的にしようするためであっても、カメラによるイベント、パフォーマンス、展示会、または商業施設の撮影は著作権やその他の法的権利を侵害することがあります。

飛行禁止区域

通知

DJIは常に安全なフライトを目指しています。そのため、ユーザーが現地のルールや規制を守ってフライトできるよう様々な援助を行っています。次の機能を最新版にアップデートするために、ファームウェアを常に最新バージョンにしてください。

飛行禁止区域

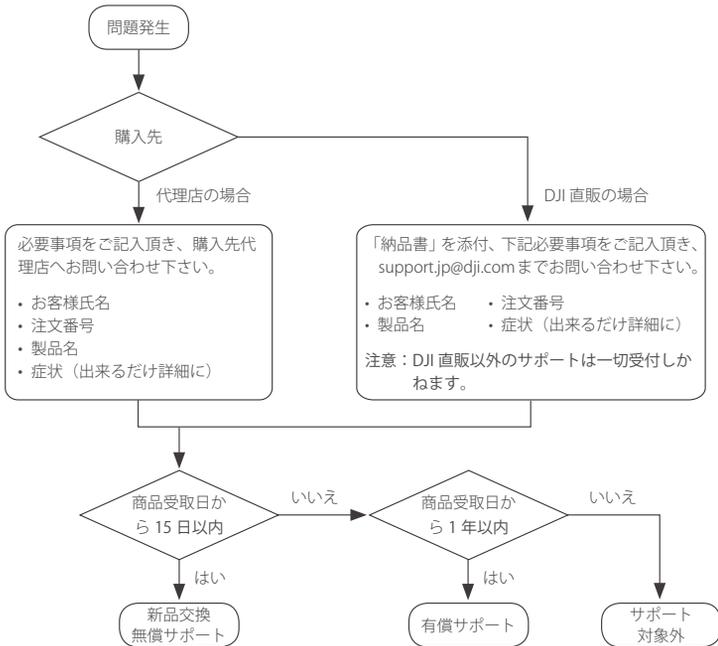
- 1) 飛行禁止区域は世界の主要空港周辺、国境、主要都市などです。
- 2) 飛行禁止区域の完全なリストは DJI ウェブサイト <http://flysafe.dji.com/no-fly> から確認することができます。飛行禁止区域は規制の新設に伴い、事前の通知なしに更新されます。
- 3) 飛行禁止区域はいくつかのゾーンに分類することができます。それぞれのゾーンは禁止区域を示す円の大きさが異なります。飛行禁止区域の中で機体を離陸させることはできません。また、ゾーンに近づく場合、機体をある一定の高度まで降下させなくてはなりません。グランドステーション機能は機体が飛行禁止ゾーンの中に入ったとき、使用することができません。
- 4) ユーザーは飛行禁止区域を機体の中間地点として設定する事ができません。

高度制限

- 1) 地上から 120 メートル（400 フィート）以上をフライトしないでください。また、常に障害物を避けるようにしてください。
- 2) 初期設定の高度制限を超えてフライトする場合、新しい高度制限を有効にするための免責条項に同意する必要があります。新しい高度制限が設定されると、フライト遠隔操作データおよび高度制限の変更データがアップロードされ DJI 指定のサーバーに保存されることに同意したとみなされます。

サポートポリシー

当社はこの製品を使うことによって起こりえる事故、怪我または損害について直接的、間接的問わず一切の責任を負いません。



* 「使い方・操作ミスなどによる破損、紛失」、「修理跡・改造跡がある場合」は対象外。

This content is subject to change.

**Download the latest version from
www.dji.com/support**

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to **DocSupport@dji.com**.

© 2015 DJI. All Rights Reserved.

